



ご利用製品 ▶ **運行管理システム : ITP-WebService V3 (DTS-G10)**



日本運輸株式会社  群馬県邑楽郡大泉町寄木戸612  14拠点  683名（派遣社員除く）  190台
事業管理部 部長 **新井 様** 事業管理部 自動車課 係長 **根岸 様**  一般貨物自動車運送事業

段階導入と運用の継続性確保で、スムーズなデジタル化を実現

導入背景

カード型 + Wi-Fi通信型デジタコによる運用課題や保守期限切れをきっかけに導入を検討

❌ Wi-Fi接続が不安定でデータ連携が機能せず、事務所でしか受信できない、位置情報がずれるなど、複数営業所での運用に支障が生じていた

❌ Wi-Fi通信型デジタコの保守期限切れを機に、クラウド通信型のシステムへの移行を検討

導入の決め手

既存システムからのスムーズな移行と業務効率化と安全性の向上

💡 **既存システムとの互換性**を考慮し、旧システムから円滑に移行することが可能

💡 **操作性の大きな変更がなく**、ドライバーの使い勝手が維持される

💡 通信型への移行によるランニングコスト増加よりも、**業務効率化と安全性向上**のメリットを優先した

導入効果

業務効率の向上と事故対応の迅速化および精度向上につながった

✔️ ドラレコの画質が向上し、ナンバープレートを鮮明に確認できるようになったことで、**事故対応の精度が格段に向上**

✔️ SDカード回収の手間が削減され、帰庫を待たずに**リアルタイム確認が可能**になった

✔️ コマ撮り画像を動画に変換する**手作業が不要**になった

導入直後の反応と運用開始

✓ 現場からの反応

- システムが大きく変わらなかったため、ドライバーからの**抵抗感はほぼ見られなかった**

✓ スムーズな移行の工夫

- 3か年計画として**各営業所ごとに導入時期を調整**
- 営業所の独自仕様（日報レイアウトなど）を新システムに反映させ、違和感のない運用を実現

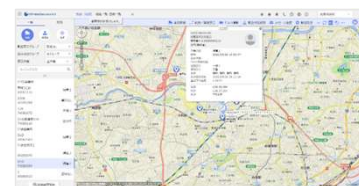
今後の展望

✓ 動態管理機能の活用拡大

- 事故多発地点の確認機能の活用をさらに促進し、**安全管理意識の向上を図る**
- 他社データを組み込んだ危険エリア分析を検討し、「**急ブレーキ多発マップ**」などの**活用**による安全運転支援を強化する

運用方法

✓ 動態管理



リアルタイムの車両位置把握と
運行状況の監視を実施

✓ ドラレコ映像



- 月1回の**ヒヤリハット確認**を実施
- 各営業所で映像を共有**し、安全教育に活用
- 通信でSDカード状態も確認可能に
(従来は物理的なSDカード回収が必要)



現在すべての車両への導入が完了したため、安全教育への活用を本格化。さらに動態管理機能を活用した事故防止対策の推進を予定しています。